

第5回関東MeeGo勉強会

MeeGo ハッキング III

@furikku_ks09



目次

自己紹介

1 はじめに

2 MeeGo と Mer

2.1 x86系MeeGo について

2.2 MeeGo と Mer の関係

2.3 Mer ベースで出ている物

2.4 UX の種類

3 Nemo

3.1 Nemo を試す

3.2 Nemo on VirtualBox

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.1 Nemo の追加

4.2 UX起動の設定

4.3 補足及び備考

5 まとめ

自己紹介

- Twitter ID:@furikku_ks09
- Blog:フレイドフォートonBlog
<http://blog.livedoor.jp/furikku9310/>
- 英語Blog:FureidoFort on Blogger
<http://fureidofort.blogspot.com/>
- Wiki:フレイドフォートonWiki
<http://wiki.livedoor.jp/furikku9310/>

1 はじめに

- MeeGo と Mer のパッケージ関係について
- Mer ベースで出ている物について
- x86系Nemo (MeeGo 1.3 CE) を試した事に関して

2 MeeGo と Mer

2.1 x86系MeeGo について

□ MeeGo 1.2系

- 1.2.0系の更新は続いている。
- 1.2.0系の Cedartrail 対応の Netbook UX のイメージが出始めている。
- 1.2.1系は、Snapshot版で止まった。

□ MeeGo 1.3系

- Snapshot版は、1.2.99系で止まった。
- Mer、Nemo で内部バージョンナンバー継続。

2 MeeGo と Mer

2.2 MeeGo と Mer の関係

- 元々、Maemo に Mer があった。
<http://wiki.maemo.org/Mer/Releases>
- 現在の Mer は、リポジトリやパッケージのバージョンを見る限り、MeeGo 1.3系を引き継いでいると思われる。
 - バージョンが、MeeGo 1.2.90 となっている。
- Core のみで UX関係は含まれていない。
- UX は、別途追加して組み合わせられる。

2 MeeGo と Mer

2.2 MeeGo と Mer の関係

- MeeGo Trunk (1.3系) のリポジトリもタイムスタンプを見る限り、動きがある。
- Kernel について
 - 1.2.80系途中から kernel-adaptation-pc というパッケージが出ていた。
 - 更新操作で kernel-adaptation-pinetrail と置き換わる。
 - Mer Core、1.2.0 Cedartrail 対応イメージも kernel-adaptation-pc が入っている。

2 MeeGo と Mer

2.3 Mer ベースで出ている物

- Nemo
 - Handset UX
 - MeeGo CE (Community Edition) の名前変更
 - Testing版イメージが数度出ている。
- Cordia HD
 - Tablet 系 UX
 - x86系Alpha版イメージが出ている。
 - HD は、Hildon Desktop。

2 MeeGo と Mer

2.3 Mer ベースで出ている物

- Plasma Active
 - KDEベースの Tablet 系 UX
 - ARM系は、Mer Core ベースのイメージがある。
 - x86系は、MeeGo 1.2.1系Snapshot版ベースのイメージが出ている。
 - 他に、SUSEベースのイメージも出ている。

2 MeeGo と Mer

2.4 UX の種類

- Mer Wiki

http://wiki.merproject.com/wiki/Community_Workspace

- x86向けでリポジトリ追加で試せる物

- Cordia HD
- Nemo
- Plasma Active
- Qt Desktop (Razor-qt)
- XBMC

3 Nemo

- MeeGo 1.3 CE の名称変更。
- Testing版が複数出ているが、その間に元のリポジトリ構成が、途中で変わっている。

※イメージファイルは、

<http://repository.maemo.org/meego/Nemo/>

3 Nemo

- Handset 系だけでなく、Plasma Active や XBMC のリポジトリが、出始めた。
- Plasma Active 関係のパッケージバージョンに Nemo の文字列が含まれるようになった。

3 Nemo

3.1 Nemo を試す

- Atom Pinetrail 搭載 Tablet 機を使用。
 - Intel Atom N450、GMA3150
- Testing版イメージをUSBメモリーに書き込みLive起動でUXの画面が出た。
 - Testing版のバージョンによっては、アプリやテーマにやや違いがある。
 - タッチ操作だとUXがダウンする事があったが、マウス操作ならば、大丈夫そう。

3 Nemo

3.1 Nemo を試す

- インストール時選択後にOS起動メッセージが出て止まった様に見えるが、中にテキストインストールメニューが埋もれていた。
- これまで出た MeeGo 1.3系Snapshot版と同様の流れ。

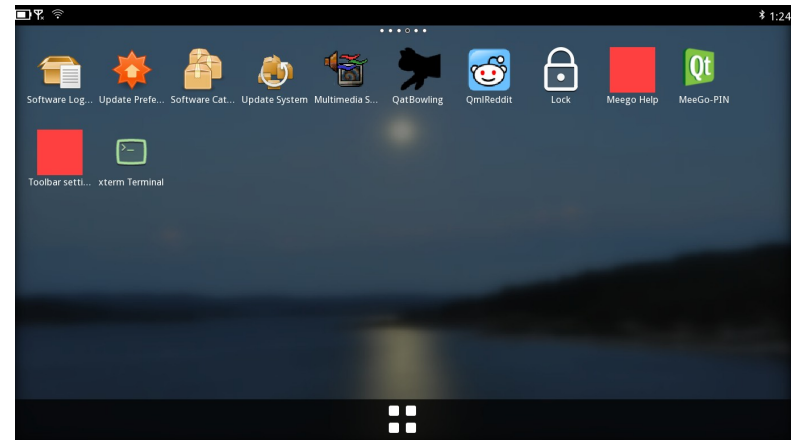
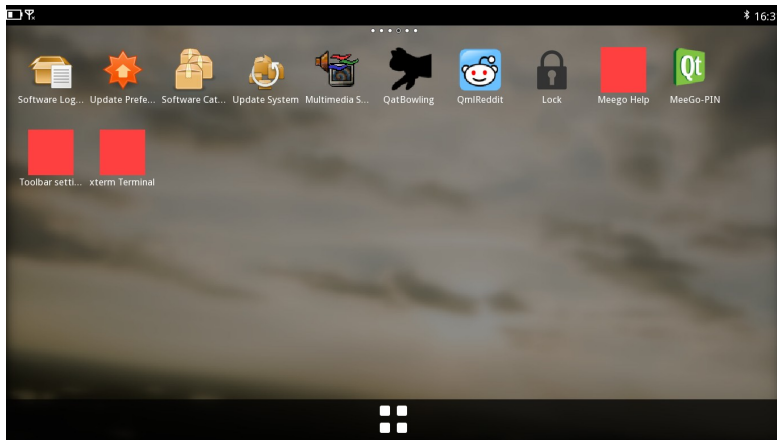
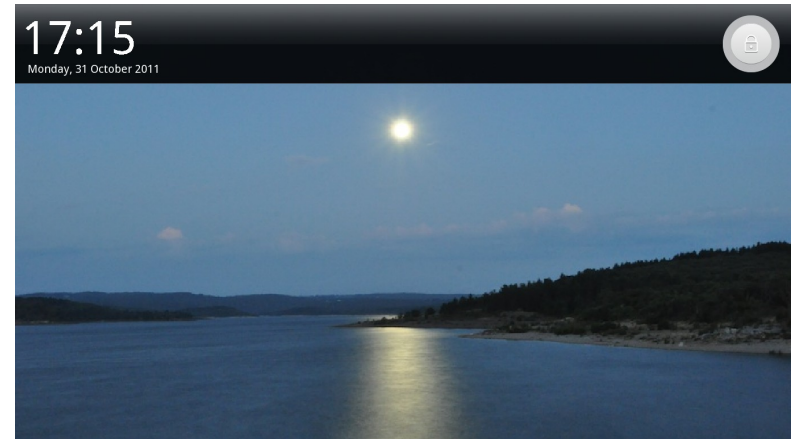
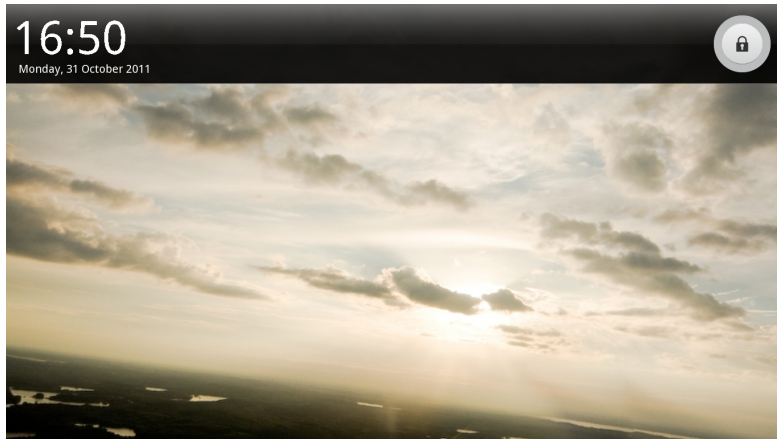
3.1 Nemo を試す

MeeGo 1.3系インストールの流れ

- bootメニューでインストール選択。
- インストール項目1
 - 1:内蔵ディスク
 - 2:挿したUSBメモリー
 - 3:キャンセル
- インストール項目2
 - 1:空き容量を使う
 - 2:ディスク全体を使う
 - 3:キャンセル
- インストール項目3
 - パーティション確認
 - 変更不可
 - 実行のYes、No選択
- インストール進行。
- 完了後、自動再起動。

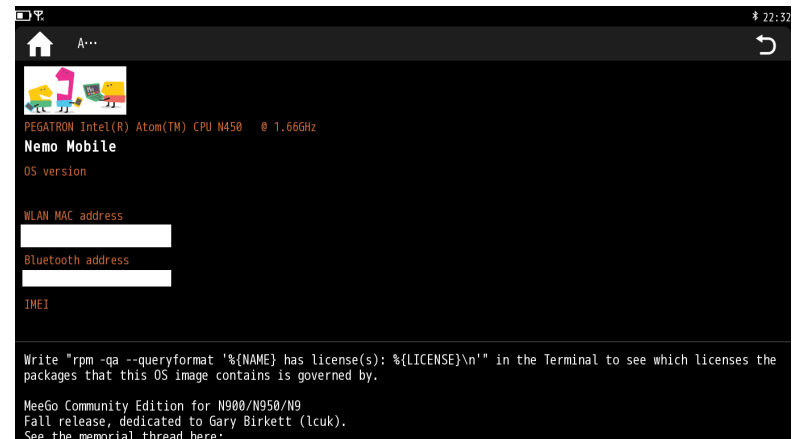
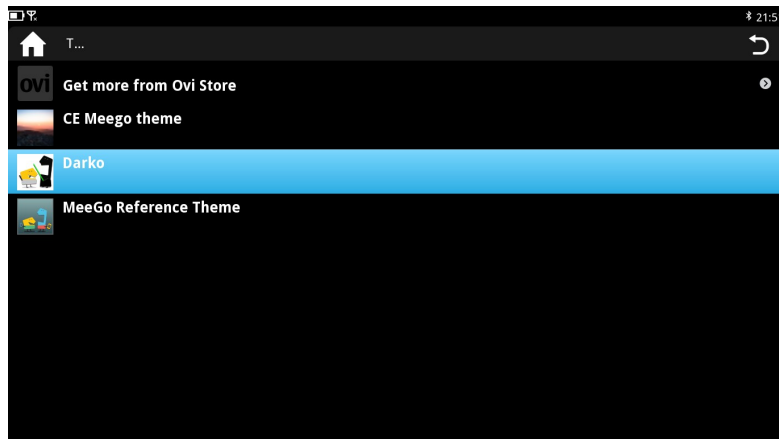
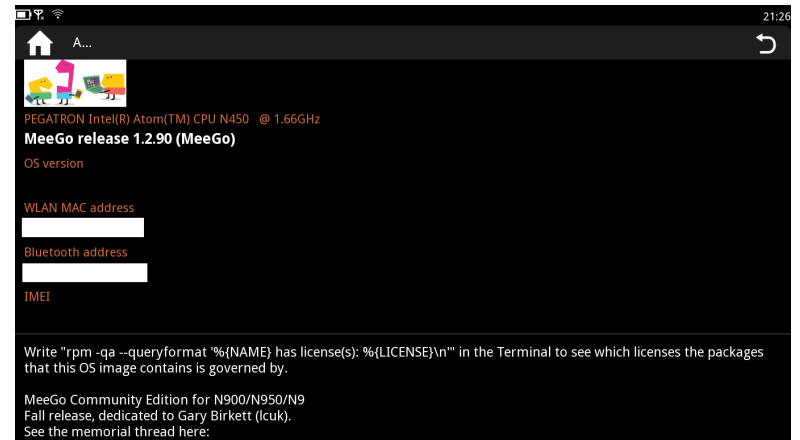
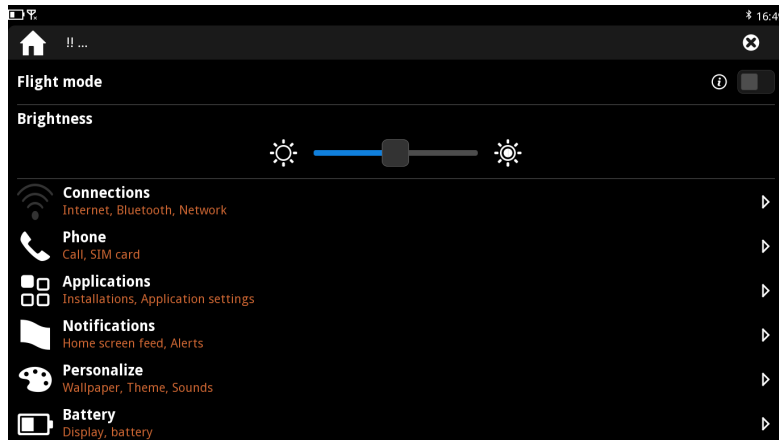
3.1 Nemo を試す

Theme無し、CE Theme



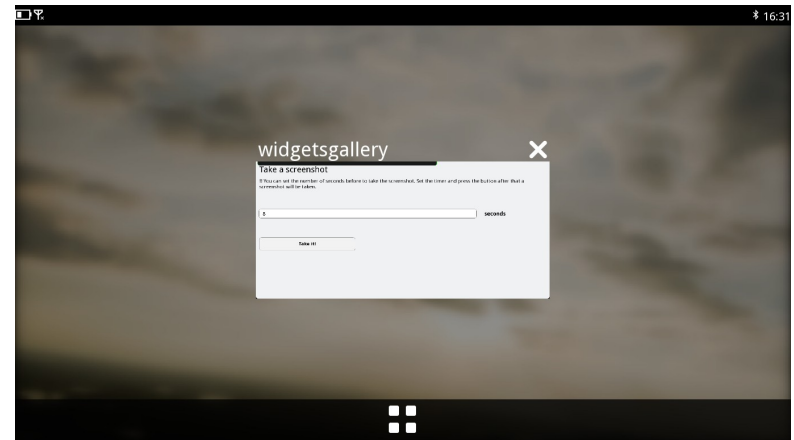
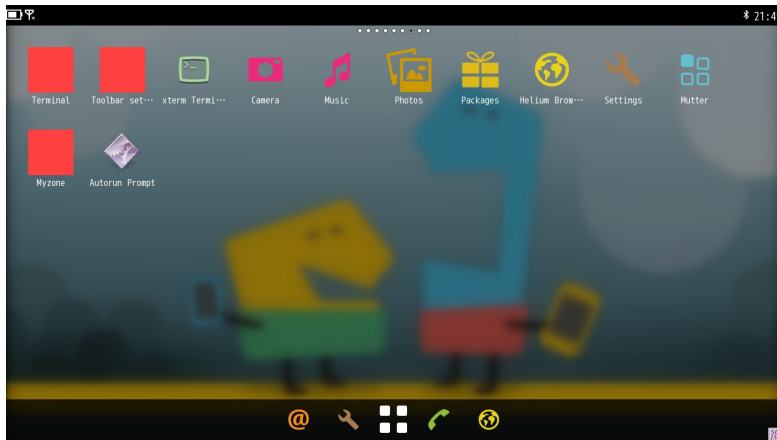
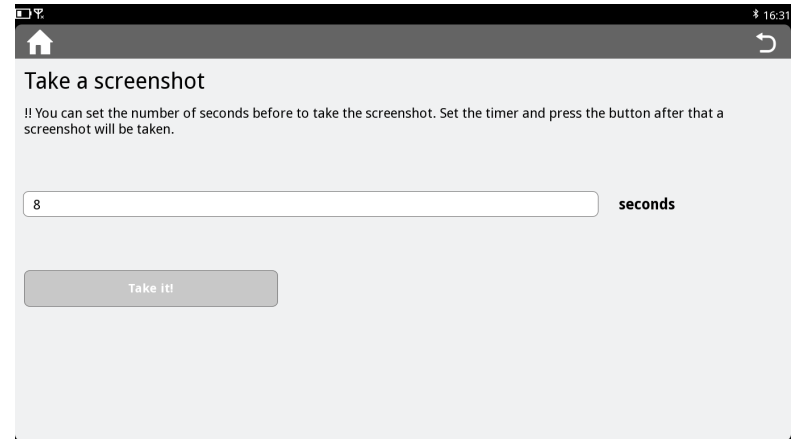
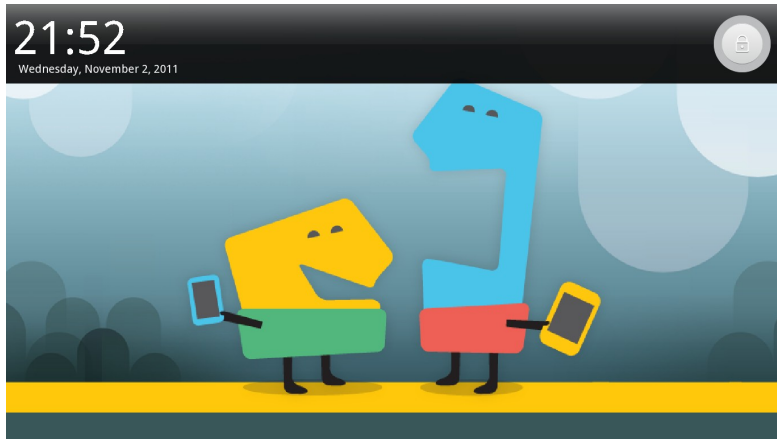
3.1 Nemo を試す

設定画面、About Product画面



3.1 Nemo を試す

MeeGo Theme、Debug Tool



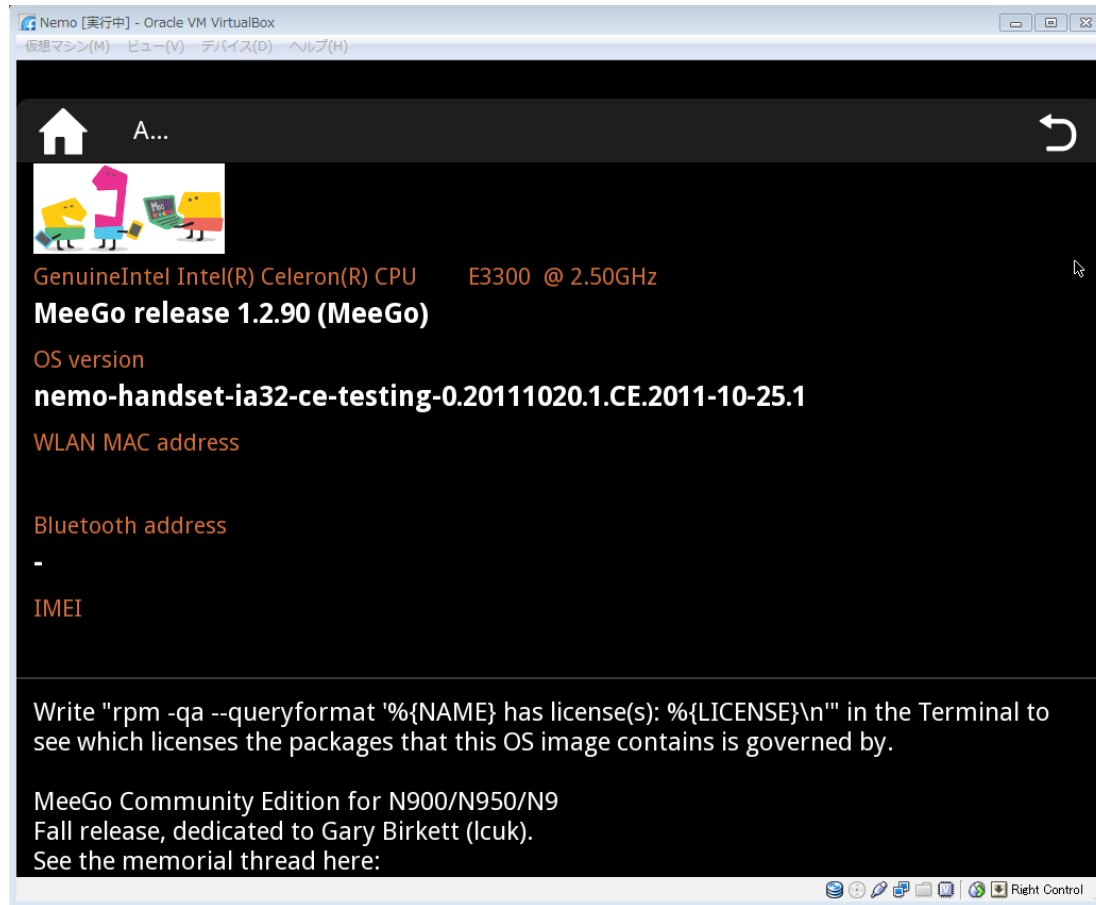
3 Nemo

3.2 Nemo on VirtualBox

- Nemo イメージ Testing版を使う。
- MeeGo と同様の条件。
- 仮想では、幾つかのパッケージ追加が必要。
 - mesa-dri-swrast-driver
 - xorg-x11-driv-vesa
 - xorg-x11-server-Xorg-setuid
- マウスカーソルを有効化する。
 - /etc/sysconfig/uxlaunch から xopts=-nocursor を消す。

3 Nemo

3.2 Nemo on VirtualBox



4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.1 Nemoの追加

- Nemo は、MeeGo 1.3系列の物と言えるので、これまで出た 1.3系 Snapshot版へのパッケージ追加が可能と判断。
- その中で安定していると言えそうな物が、MeeGo 1.2.80 系 Netbook イメージだったので環境作りの土台にした。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.1 Nemoの追加

- 設定関連は、root権限で行う。
- Nemo Testing版イメージのksファイルから必要なりポジトリを確認し、repoファイルを /etc/zypp/repos.d/ 以下に追加する。
 - Mer Core
 - Nemo関係
 - Testing版の初期は、5つだったが、8つに増えた。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.1 Nemoの追加

- 土台にしたMeeGoに元々含まれるリポジトリは、削除する。
 - 元のMeeGo 1.3系 Snapshot版のリポジトリの参照先は、無くなっている。
 - Adobeは、残しても良い。
 - ただし、パッケージ操作時にkey関係でエラーが出る事がある。

4.1 Nemoの追加

Nemo関係パッケージの導入

- パッケージ群を纏めて入れる。
 - ksファイルの記述は、YUMでのグループ名。
 - Zypper でのパターン名を確認する。
 - zypper pt
 - ksファイルに準じて、intel、nemo、mtf の名の付くパターンを入れる。
 - zypper in -t pattern nemo* mtf* intel*

4.1 Nemoの追加

Nemo関係パッケージの導入

- パッケージ導入、更新前には、リフレッシュ操作をした方が良いかもしれない。
 - Zypper でのリポジトリのリフレッシュ
 - zypper ref
- Netbook UX 部分の更新等を考えた場合には、別のリポジトリ追加が必要。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.2 UX起動の設定

- UX起動設定ファイルの作成
 - Nemoの場合、ksファイルに書かれている。
 - /usr/share/xsessions/X-MEEGO-HS.desktop
[Desktop Entry]
Version=1.0
Name=mtf compositor session
Exec=/usr/bin/mcompositor
Type=Application
 - Netbook用に x-meego-nb.desktop が、元々ある。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.2 UX起動の設定

- デフォルト起動UXの設定
 - リンクファイルのリンク先を変更する。
`/usr/share/xsessions/default.desktop`
 - `cd /usr/share/xsessions/`
 - `ln -sf X-MEEGO-HS.desktop default.desktop`
- OS再起動、又は、Xのプロセスを強制的に落として、自動再読み込みさせる事で新たなUXが表示される。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.2 UX起動の設定

- MeeGo 1.3系でのUX設定は共通。
 - 既存で出ている Cordia HD のイメージの場合。
 - /usr/share/xsessions/x-hildon.desktop
 - XBMC 導入時に合わせて追加される。
 - /usr/share/xsessions/XBMC.desktop
 - 他のUXを追加した場合にも同様。
 - あらかじめ desktopファイルが、パッケージに含まれている場合有り。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.2 UX起動の設定

- desktopファイルについて
 - あらかじめ desktopファイルが、含まれていない場合は、自作する必要有り。
 - Exec の項を書き換える。
 - 1.2系での /etc/sysconfig/uxlaunch の session の項の書き換えと同様。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.3 補足及び備考

- Mer Core リポジトリの追加及びパッケージ更新時に気付いた事として、Waylandが含まれていた。
 - mesa-libwayland-egl と MeeGo の devel の wayland リポジトリから、wayland-demos パッケージを追加する事で、デモが試せる。
 - MeeGo の Trunk リポジトリにも Wayland が含まれていた。

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.3 補足及び備考

- 1.2.80系Netbook に含まれる Webブラウザの Chromium の更新のために devel の browser リポジトリを追加した。
 - このパッケージのChromium のデフォルトのホームは、tizen.org になっていた。
- devel の xfce の Trunk リポジトリ追加で XFCE も追加可能。
 - `/usr/share/xsessions/xfce.desktop`

4 MeeGo 1.3系への UX追加

4.3 補足及び備考

- 他にもリポジトリは、多々ある。
 - KDE関係のリポジトリの1つとして、Mer Extrasや Plasma Active がある。
 - 1.3系への Plasma Active 導入は、難有りに感じる。
 - ICS-IVI、LLVM (Clang含む)、Razor-qt、XBMC 11系 (MeeGoリポジトリでは10系) 等を含むリポジトリもある。(全て別々のリポジトリ。)

5 まとめ

- Mer が、MeeGoからの繋がりを多く持っている事が分かった。
- 現在出ているイメージやパッケージ群は、MeeGo 1.3系及びそれと近い位置付けの物ではないかと考えられる。



主なりポジトリ

- Mer Core
 - <http://releases.merproject.org/releases/>
- Nemo
 - <http://repo.pub.meego.com/CE:/>
- MeeGo Devel
 - <http://download.meego.com/live/devel:/>
- MeeGo Trunk
 - <http://download.meego.com/live/Trunk/standard/>
- KDE
 - <http://repo.pub.meego.com/Project:/KDE:/>